



ぼくのおとうさん

神戸小学校 6年 渡辺明善

うちのおとうさんは、やさしいけれども、おこるときは、すごくおっかない。でもそれは、ぼくのためをおもっているのだ。

おとうさんは、会社がやきんのとき、昼はどっかにいって、夕がた6

時ごろからねるので、ねる時間がすくない。8時45分ごろ家をでる。ぼくは、おとうさんが、ねむたそうに家を出ていくとき、もっとねむらせてあげたいと思う。

おとうさんは、毎朝、朝の会へい

っている。それは、おとなの人たちが集まって、いろいろやることだ。おとうさんは、その人たちの中でいちばん声が大きいそうだ。家でも「いただきます」と言うときに、小さな声だとおこります。

おとうさんは、ふつうの人とすこしちがうところがあるけれど、とてもやさしいです。



少年少女合唱団が発足

富士市少年・少女合唱団の結団式が、さきごろ吉原市民会館で行なわれました。団員は小学校4年生から中学生までの80人で、333人の応募者の中から選ばれ

ました。練習は毎水曜日の午後5時から市民会館で行なっています。第1回の発表会を7月に行なう予定で、みんなおすお張り切りで。

富士山の雲と天気 ③

はなれガサは好天の時に…

「カサ雲が出ると、天気が悪くなる」といわれていますね。だけど、中には天気がよくなる時にだけ出るカサ雲もあります。好天の時にだけ出るものは日和ガサ（ひよりガサ）と呼び、はなれガサやつみガサがこれに含まれています。

はなれガサは、山頂の上空に、はなれてカサ雲ができるもので、冬場に多く現われます。



じしん

元吉原小学校

小林しのぶ

国語の本をひらいたとたん
グラグラとゆれた。
前の方のだけかが、「じしんだ」といった。
先生は、「じしんだ、すぐつくえの下にかくれなさい。」とお声で言った。
だんだんゆれが大きくなって、ガラス戸が、ガタガタゆれて、温度けいは、ゆらゆら。
えんどう君が、なきそうな声をだした。
先生は、すぐ、みんなをにがせるように、戸をあけて机の下へもぐった。
電気がグラグラゆれている。
天じようがおちそうだ。
しばらくおそろしい時がつづいて、じしんはうそのようにさつた。